

卓 話

● 崎野圭子会員
「近況のご報告」



■ここ10年

◆ 6年間（2015-2022）生産協栄会理事長

“人にやさしい工場づくり”を掲げて

- ・ 職場環境整備、スマートファクトリー化
- ・ 製販一体会議の推進、
- ・ 新規事業(ダスキファミリー内製化)

◆ 昨年11月 ダスキン 創業60年

昨年12月 サキノ会社設立70年

昨年8月 第40回鈴木清一賞受賞



■ダスキンの工場(物流倉庫) 昨年～

スマートファクトリー

(働き方改革、人口減少対策)

- ① 省人化設備 荷受け、在庫管理、品質検査等の自動化
- ② RFIDタグシステム 日経新聞100億投資発表

昨年3月～ 既存流通商品への **タグ取付** (60万個)

今年7月～ 全国展開 工場・営業店・ダスキン一体

⇒ 生産・物流部門の効率化 (差異・滞留・人手不足)
BIG DATAの効果は？

RFIDタグ

電波を発信したり情報を書き込める



(3センチ×1センチ)

生ゴムでカバープレス機で圧着



布製カバーに入れミシン縫製



■タグによるICT (情報通信技術)の活用

守りのICT

作業効率化・コスト削減

攻めのICT

商品の付加価値向上に活用

■日本の 労働生産性

労働生産性＝付加価値(生産量)／労働投入量(労働者数、労働時間)

『労働生産性の国際比較』(日本生産性本部2021資料より)

- ・ GDP国民総生産 第3位／世界
- ・ 労働生産性(時間当たり) 第27位／OECD(世界平均時間あたり)38か国
- ・ // (一人当たり) 第24位／OECD(世界平均時間あたり)38か国

製造業は18位であるが 主要7か国中最下位、
1991年最高26位 2020年には34位となり韓国、トルコ、チェコ、スロベニアにも抜かれる現状

← 購買力調整後とはいえ、国際比較は難しいのでは？
とはいえ来る「人口減少社会」にむけ生産性向上は必至！

■生産性向上のヒント① 国際比較から

ICT 情報通信技術の活用

『生産性向上のヒント』働き方改革研究所2019より

【導入】 日本7割、米国8割、英独9割以上

【利活用傾向】 日本 守りのICT 既存の業務効率化、コスト削減
米国 攻めのICT

このフェーズが重要

→ 段階的に新しい価値を創造し収益増
マーケティング、既存製品・サービス高付加価値化

■生産性向上のヒント② 国際比較から

産業構造

『規模の経済』からも明らか 企業規模 大→生産性 高

また 中小企業の卸売業・小売業では 米50%/日80%等 中小企業内での規模も違う

	中小企業数	従業者数	売上 (全企業数中%)
日	99.7	70	48
米	99.9	47	
英	99.9	60	52
独	99.5	57	34

■生産性向上のヒント② 国際比較から

働き方 『働き方改革の今』リクルートワークス研村田博美氏より

- 米 働きたい人にあわせ 個人的な生活サポート ex ベビーシッター派遣
 - 北欧 早朝から働き、昼食は軽く、午後3時帰宅（延長保育なし、物価高家賃）
 - 仏 週35時間制を導入（実際は39時間）、休暇充実
 - 英 高齢化により3、4世代が労働市場 祖父母が孫のための休暇取得
 - 西 3～4時間昼休み → 地方からの出稼ぎ者多 居場所がなく屋敷禁止
 - 亜 週35～50時間労働
- ヨーロッパ パソコン=職場 余裕ができ一日の時間勤務を短縮

■生産性向上のヒント③ 国際比較から

組織風土 日本人がアメリカの職場で感じた企業文化の違い

『SFデザイン会社btraax社ブログ』日本人従業員より

1. 意思決定のスピード 個人単位の貢献 ⇔ グループ単位・準備過多
70%でも始め100%結果 ⇔ 慎重に100% 誤差は懸
 2. 個人責任度 成果主義 ⇔ 負のループ・プロセスも重視
 3. 多職種 発信力必要 ⇔ アウン文化 なれ合いと保守的
 4. コミュニケーション 短時間少人数会議活発 上下なく発言 ⇔ 会議多くベクトルを合わず 上下関係発言小
一般化 ⇔ 実際に会うことが礼儀
 5. ITツール
- ←スピード感、粗削りながらもまず動く →活力

■これからの働き方と企業の課題

- 働き方のフレキシブル化 時間より成果報酬
- 成果評価システム 確立し見える化
- 就業規則 対個人、一律でなく選択制
- 労働時間の短縮 高齢化により週休3日制等報酬減OK 選択可能に
- 活性化・多様化 女性管理職登用
(国による)話し方、管理、財務の研修等必要

人口減、高齢化社会を憂い
少々緊張しながらの日々ですが、

前期高齢者を目前に 人生や人間の
オカシ味を味わいながら
大切に生きてゆきたいと思う 今日この頃です。

ご清聴ありがとうございました。感謝